

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1
四国医療専門学校 作業療法学科内
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

「重く見える扉、実はそうでもない」

副会長 前田 悠志

今年1月に開催された「第21回香川県作業療法学会」は盛会に終わりました。前々回の巻頭言に「まあ、いっぺん学会に来まいよ」を書かせていただいたが、その効果があったかよりも、実行委員各位の熱意が伝わったのではとHP掲載の報告を見ても感じました。

今の臨床現場が主活躍の場であることは重々承知しています。多くの会員が医療・福祉等の領域で活躍し、対象者への治療や援助のため、自己研鑽に努めていることと思います。一方で時間は日々刻々と進み、時代の流れに沿って作業療法士に期待されていることも変化や広がりを見せています。

今県士会では挑戦にあふれています。現在進行形も含め「介護予防」「認知症予防」「認知症初期集中支援」「地域ケア会議」「MTDLP推進」「特別支援教育への可能性」「難病支援」「スポーツと作業療法」「介護ロボット」「参加型実習への移行」「介護職との交流」「地域包括ケア推進」「次世代への作業療法の魅力発信」「内部障害への作業療法」…まだまだあります。

これらは県士会で携わることができます、会員各位の興味と行動があれば。はじめから大きいことはできません、完璧にはできません、1つずつです。理事や部長、部員の多くはそう思って事業を遂行しています。携わることのメリットは専門分野外でも広い知見を得られる、世の中がどう動いているか知ることができます。それを知ることによって作業療法士の今の立ち位置を知ることができます。少し先、自分がどう動けばいいか他の作業療法士より理解しやすくなります。もう1つのメリットは人とのつながりを多く持っています。他の職場の作業療法士との交流や情報交換は、自分の助けになります。一個人として、作業療法士との交流や趣味の活動の交流など、「浅く広い関係」を多く持つことが頼り頼られるほどよい関係を持ち、心穏やかに生活できると考えます。色々な経験をブレンドし、熟成し、自分にしかない作業療法観を持ちませんか。ぜひ県士会の扉を押し開けてみてください、きっと新たな出会いと気づきが待っていますよ。

先輩の声

No.40 総合病院 回生病院 神田 智明
(9年目)



私がこの職業に就いてから9年の歳月が過ぎました。これまで総合病院の中で身体障害をお持ちの様々な患者様を担当させていただきました。その中でも私は特に整形外科疾患の患者様を多く担当してきました。そんな中、昨年度より肩肘専門の医師が赴任され、私を含む数名のセラピストが腱板断裂などの肩疾患を抱えた患者様を多く担当させていただく機会を得ました。年間数件であった処方数が100件程度にまで増えました。それに応じて「もっと勉強しなくてはいけない」という気持ちから、文献と格闘したり、先輩の考えを仰いだりと今も日々奮闘しております。そして自分はまだまだ無知であると痛感させられます。初心を忘れず探究心を持っていただけるかが大切だと実感させられます。色々な知識がついてくるとその中だけで応用を利かせようとします。ある面では良いことなのかもしれませんが、成長を妨げる因子にもなるものだと思います。常に新しい情報から目を逸らさず研鑽していけるかが大切だと思います。私の尊敬する先輩から教わった言葉に「実るほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉があります。志を高く持ち困難を乗り越え成長した人間は偉くなるほど謙虚になっていくという言葉です。より良い治療をするため志を高く、姿勢は謙虚にこれからも日々自己研鑽していければと思います。



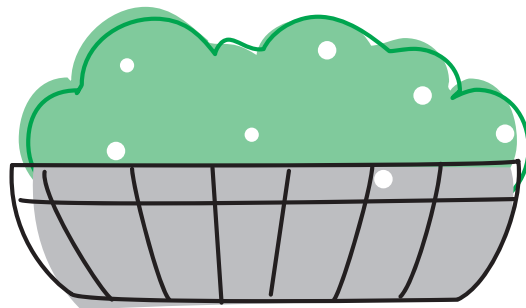
No.41 おさか脳神経外科病院 元木 詩夕
(4年目)



私は、おさか脳神経外科病院で働き始めてもうすぐ4年の月日が経とうとしています。おさか脳神経外科病院は、急性期、回復期、デイケアの三部署あります。私は1～2年目にかけて回復期病棟、2年目から現在にかけて急性期病棟で働いています。

私が作業療法士になったきっかけというのは、そこまで高い志があった訳でもありません。人の役に立てる仕事がしたいと思う中で周りの友達に医療職を目指す人が多かったこともあり、医療関係の仕事に興味を持ちました。高校までのインターンシップで看護師やリハビリの見学をする機会がありましたが、初めから作業療法士になりたいとは思っていませんでした。実際、作業療法の見学すると急性期病棟でしたが作業活動を通す中で患者様が笑顔でリハビリに取り組んでいました。そこで初めて作業療法士が自分には合っているのかなと思えましたし、こんな風に人と関わっていけるのは素敵な仕事だなと思いました。

作業療法士になりたいと思うきっかけは小さなことでも、今こうして現場で仕事を続ける事が出来ています。自分には向いてないのではないかと思う日々もありましたが、今はまだまだ自己研鑽し患者様の力になっていきたいなと思っています。



香川県作業療法士会 広報部主催 高校生への作業療法説明会

◎香川県立高松工芸高等学校

開催日程：令和元年12月13日

時間：13:30～15:00

場所：高松工芸高校進路指導室

参加スタッフ：木村（滝宮総合病院）細谷（吉峰病院）

参加者：6名（教員含む）



整形外科 吉峰病院
作業療法士 細谷かぐや

令和元年12月13日、私の母校である香川県立高松工芸高等学校にて高校生説明会に行ってきました。大役を仰せつかり、とても緊張しました。

内容は、作業療法士とはどんな職業なのか、どうすればなれるのか、実際の仕事風景、質疑応答の4つでした。

既に専門学校に行くことを決めている生徒さん、とりあえず聞きに来てみた生徒さん、進路指導の先生が聞きに来てくださりました。

とても拙い説明だったと思いますが、皆さん真剣に聞いてくれていて安心しました。先生からは、理学療法士との違いがよく分かったので生徒に今後説明ができますと仰っていただけました。

私が作業療法士の道に進むきっかけに出会ったのが母校でしたので、同じ道を志している生徒さんに少しでもアドバイスになったのではないかと考えています。

今後、作業療法士について幅広い世代の方々に知ってもらえるように、仕事はもちろんイベントや説明会等、自分に出来ることをしたいなと思いました。

そして、このような場を設けてくださった工芸高校の先生方に御礼申し上げます。

◎香川県立飯山高等学校

開催日程：令和2年1月10日

時間：15:30～17:00

場所：飯山高校視聴覚室

参加スタッフ：木村（滝宮総合病院）平尾（坂出市立病院）

参加者：8名（教員含む）



坂出市立病院 平尾 芹奈

令和2年1月10日に飯山高校にて作業療法士についての説明会を行いました。

たくさん的高校生の方に「作業療法士」を知って頂く素晴らしい機会になりました。育成の学校のパンフレットだけでは伝わらない現場の作業療法士、どんな患者さんを担当しているか、どんな作業療法を行っているか高校生の方にとって詳しく知れる機会になったと感じています。どの高校生の方も興味を持って話を聞いてくださりました。また、高校生だけでなく職業説明を行う進路指導の先生方から、今回のような機会は先生方にとっても「作業療法士」を知れるきっかけになり、高校生へ説明がしやすくなったとお言葉を頂きました。

しかし、まだ「作業療法士」という職業を知らない方が多い印象があり、こういった啓発活動を通して「作業療法士」を知るきっかけ、目指すきっかけに繋がっていただけたいと思いました。

今後も広報部部員メンバーでたくさん的高校生の方へ「作業療法士」という職業の存在を伝えていきたいと思っています。

運動を行う前に知っておこう！

運動は基礎代謝を上げたり筋肉量を増やすなどの働きがあります。またストレス発散や物忘れ防止にも繋がると言われていますが、反面負荷量の強度が強すぎると怪我の原因や体調不良の原因になる可能性もあります。その為その人に合わせた運動負荷量が必要です。

運動を行う前に全身状態の確認、運動負荷量の調節は自分で確認出来ていますか？

▲運動前に確認すること

💡血圧基準値について



正常
→130/85mmHg(収縮期/拡張期)

高血圧
→140/90mmHg 以上

※1回の測定ではなく、繰り返しの測定で判断する。

💡脈拍基準、測定方法について

平均脈拍数

→約 60~100 回/分(1 分間の安静時の脈拍)

測定方法

→手関節の母指側に指を添える。15 秒間の脈拍の回数を数えその回数に 4 をかける。

例…20 回×4=80
(→15 秒間の脈拍)

1 分間の脈拍数 80 回



(図)橈骨動脈触診

💡運動を行わない方がよい場合

- 安静時脈拍 40/分以下、120/分以上
- 安静時収縮期血圧 70 以下、200 mmHg 以上
- 安静時拡張期血圧 120 mmHg 以上
- 著しい不整脈がある場合

💡自覚症状について

※下記質問に対して、レ点が入る方は運動を控えた方がよいかもしれません。

- 動悸、息切れ、胸痛は？
- めまい、冷や汗、嘔吐は？
- 熱は？
- 倦怠感は？
- 食事量不足していないですか？



💡Borg 指数(自覚的運動強度)

本人がどの程度運動後に「きつさ」を感じているか測定する指標です。

スケール	目安となる運動強度	運動強度%
6		
7	非常に楽である	5%
8		
9	かなり楽である	20%
10		
11	楽である	40%
12		
13	ややきつい	55%
14		
15	きつい	70%
16		
17	かなりきつい	85%
18		
19	非常にきつい	95%
20		100%

□で囲まれている部分は、生活習慣病の予防効果が得られ、安全に行える運動強度とされています。一般的に【息が弾む程度】と言われています。

※上記内容はあくまで基準値です。既往の疾患などによって基準値や負荷量は個人で変わる可能性がある為、医師の判断が重要です。その為、医師に確認の上、参考にするようにして下さい。

ダイヤル式注射器を片手で操作する為の自助具

●作品概要

[対象]

- ・片手での動作を余儀なくされる方（脳卒中・上肢の骨折・切断など）で、インスリン注射等の自己注射が必要な方が対象です。

[特徴]

- ・全て100円均一ショップで購入できる材料で作成可能です。
- ・ダイヤル式注射器の操作や、注射針容器の開封、注射針の着脱が片手のみで可能です。

[適応]

- ・使用用途を理解できる認知機能を保持している方。
- ・対象薬剤の注射手順を理解している方。
- ・注射機器のリスクを理解し、管理できる方。

●製作方法

[構成] 図中(日)：注射針容器開封・針着脱用固定台

図中(月)：注射器固定台

[材料] 1. 瞬間接着剤 2. 捺印マット 3. 土台

4. 滑り止めクッション 5. 窓ストッパー（ネジまき式）

[作成手順]

1. 捺印マットを半分に切り、重ねて、窓ストッパーと一緒に土台に固定する。
捺印マットは平面になるよう、下段は窓ストッパーの形に合わせて切込みを入れる。
2. 滑り止めクッションを2つ重ねて、土台に固定する。
注射針容器を固定する為の穴をあける（鉛筆、ボールペンなどが径を合わせやすい。）

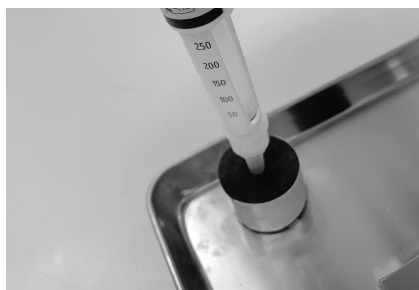
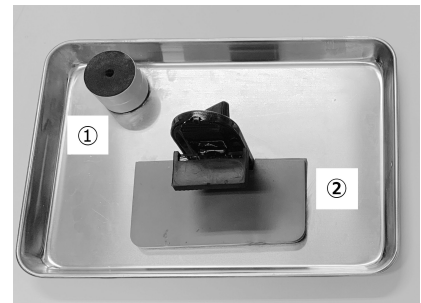
●使用方法

1. 注射針容器を図中(日)へ差し込み、蓋をはがす。
2. 注射器本体を消毒後、注射針を装着する。
3. 図中(月)へ注射器本体を固定し、ダイヤル操作を行う。
4. 注射後は図中(日)の容器へ差し込み、注射針を外す。

※使用に際してはインスリン注射の手順を十分に理解した上で指導・使用して下さい。

※使用前に十分な洗浄・消毒を行い、衛生管理に注意しながら使用して下さい。

●自助具全体像



No.21

病院紹介

綾川町国民健康保険綾上診療所

作業療法士になって、年月だけはずいぶんたって、すっかりベテランさんの年齢になりました。でも、研修にもまともに参加しておらず、今どきの作業療法からは取り残されていることでしょう。このたびの原稿依頼には、なぜわたしが？と大変おどろきましたが、地域で働くOTのひとりとして、ということでお引き受けしました。

職場は綾川町直営の無床診療所で、リハ職は1名だけです。医療機関ではありますが、役場の保険年金課に管轄されています。（ですから、直属の上司は課長ということで、まあわからずやの方とも遭遇します。）仕事の半分は、実はケアマネ業務です。残り半分は、通所リハビリを週に2回半日だけ、訪問看護師との同行訪問、予防事業をちょびっと、その他地域のみなさんとのちょっとしたかかわりといったところです。

地域で仕事をする、ということは家での生活に直結です。本人の力を信じて、できることを探します。通所リハビリもその主義で運営していますから、みなさんよく動きます。「このリハビリは、元気な人が来ている。」と勘違いされることがあるぐらいです。

ケアマネの仕事では改めてリハビリについて考えさせられます。たとえば、ある施設にショートステイで入所した方が、すっかり寝たきりの介護を受けていました。わたしが訪問時に歩行器で歩かせていると、スタッフのみなさんが目を丸くして「〇〇さんが歩いている！」というのです。「歩けますよ、歩かせてください。家に帰れないじゃないですか！」という「個別リハビリのオーダーがないので」といいます。リハビリとは？という原点に立ち返れば、このリハスタッフはリハビリができてないということです。特別な個別リハではなく、ちょっとトイレに行ける力ぐらいあるんだよ、ということ介護スタッフに示してほしいわけです。なので、家に帰りたい人はこの施設ではだめだなあ、と思うわけです。

精神の病気をもちながら、なんとか生活を続けている人も多くいます。安定しているようでも、ぎりぎりな感じでもあります。親の介護が始まって、そういう人のケアマネを引き受けることも多くあります。

OTでなくてもできる仕事ばかりをやっているのかなあ、と思う反面、勉強したことは役にたっていると感じることもしばしばです。もうしばらく、こんな感じで続けていこうと思っています。



若年性認知症の方とそのご家族を対象とした、 交流カフェを通して

医療法人社団以和貴会 いわき病院 村上 太気

当院では、平成30年1月から香川県の委託を受け、若年性認知症支援コーディネーター事業（以下、当事業）を行っています。

近年、認知症の方とそのご家族の方の情報交換・交流を目的とした「認知症カフェ」の数が増えていますが、その参加者はやはりご高齢の方が多く、65歳未満である若年性認知症の方々が参加しづらい、という声が当事業に寄せられていました。そこで、若年性認知症の方とそのご家族を対象とした交流カフェを、令和元年8月から2ヶ月に1回の頻度で開催し、当事者・ご家族合わせて約20名の方々が参加されています。

当交流カフェの中で、前半では話題提供を実施。当事者の方から就労支援などでの活動の報告をしていただいたり、若年性認知症に関するトピックスを紹介したりしています。また、コーラスなど楽しんでもらえる活動も行なっています。後半は、当事者の方のグループとご家族の方のグループとに分かれて交流し、生活で困っている事や悩み、取り組んでいる活動などを話し合い、意見交換しています。

私は当事者グループに関わらせていただいたのですが、交流の中で参加者の方々の笑顔が増えていく様子や、交流カフェの最後に参加者同士で再会の約束をしている様子を見て、「交流カフェ」が当事者同士の繋がりを作る出発点になれる可能性を、改めて認識する事が出来ました。

この交流カフェの今後の展望として、「スタッフ主体ではなく当事者・ご家族の方々主体で運営され、当事者・ご家族の『やりたい』を実現していける場所になる事」と、担当コーディネーターは語ります。若年性認知症の方々は、身体が元気で出来る事がたくさんあります。作業療法士として、その個々人の強みを活かし、当事者同士の繋がりを広げお互いに支え合えるような居場所を作っていけるよう、取り組んでいきたいと思えます。



連載企画 6 第一弾

学校で働く作業療法士

「運転と作業療法特設委員会だより」

第 1 話

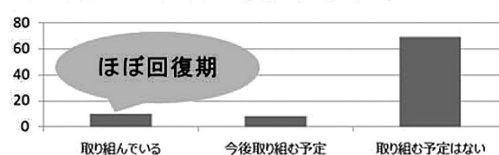
委員長 山下 由美子

運転と作業療法特設委員会は、日本作業療法士協会から「運転と作業療法」に関する各県士会の協力者の要請があり、今後OTがこの領域でコンサルテーションが行え、他団体と協力しながら運転（移動）支援が行えるために発足しました。

今年度本委員会では、①運転支援に関する各県士会員向けのアンケート実施 ②①に基づいた情報交換会を実施させていただきました。①アンケートの回収結果から、運転支援に取り組んでいる施設は、回復期病院で多かったが全体の割合としてはわずかな施設でありました。しかし、自動車運転支援の関心度は大いにあることが伺えます。また、本委員会に行ってほしい活動は、運転再開までの具体的な評価や支援内容のものが多く聞かれました。これらを踏まえて、今後県士会の皆様が、運転支援の流れを理解し他職種と協力しながら運転支援が出来る事を目指していきたいと考えます。次回の、勉強会で会いましょう。

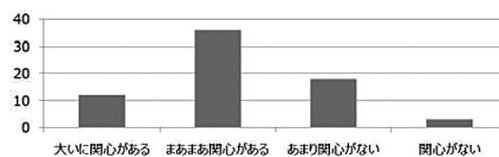
運転支援の実施状況・関心度

▶ 自動車運転および移動支援の実施状況



▶ 自動車運転支援の関心度

(上記で取り組む予定はないと回答した施設)



本委員会に行ってほしい活動

- ▶ 運転再開までの詳しい流れが知りたい
- ▶ 評価項目や評価基準が知りたい
- ▶ 運転支援をしている施設の事例報告を聞きたい

勉強会案内

2020年度 現職者共通研修会計画

受講要件：協会員かつ都道府県士会員（会員証あるいは会費納入控え・領収証などを提示）

場所：宇多津病院

開催日	内容	講師（敬称略）
6月14日	作業療法生涯教育概論	小松博彦（いわき病院）
	職業倫理	遠山和倫（西山脳神経外科病院）
	事例報告と事例研究	小松博彦（いわき病院）
9月13日	保健・医療・福祉と地域支援	未定
（予定）	作業療法の可能性	未定

2020年度 現職者選択研修会計画

受講要件：協会員かつ都道府県士会員（会員証あるいは会費納入控え・領収証などを提示）

①分野別研修会（選択）身体障害

開催日： 11月～12月

場 所： ユープラザうたづ（予定）

講 師： 未定

②MTDLP基礎研修会（必須）

開催日： 8月9日（日）

場 所： サンポートホール高松 51会議室

講 師： 楠原 敦子（国立病院機構 高松医療センター）

額 功（橋本病院）

若林 佳樹（創心会 リハビリ倶楽部高松中央）

臨床実習指導者講習会

開催日： 5月9-10日（予定）

場 所： 穴吹リハビリテーションカレッジ

認知症初期集中支援 認知症アップデート研修会

開催日： 7月12日（日）

場 所： サンメッセ香川 小会議室（1、2）

講 師： 小松 博彦（いわき病院）

遠山 和倫（西山脳神経外科病院）

高木 章宏（西山脳神経外科病院）



入 会

山地 早紀 (キナシ大林病院)

坂田 壮 (ふじた医院)

退 会

柳原 麻衣 (いわき病院)

細谷 享代 (綾川町立陶病院)

片岡 美穂

井上 利香 (穴吹リハビリテーションカレッジ)

異 動

松村 佳奈 (三豊市立西香川病院)

▶介護老人保健施設ひまわり

和泉 泰平 (赤沢病院)

▶三豊市立西香川病院

小谷 照代 (ザグスタ松縄)

▶自宅

木村 奈央 (介護老人保健施設 桃源苑)

▶堀口医院

求人募集

勤務体制：①常勤 (クリニック)
②常勤・非常勤 (ステーション)

勤務時間・地：応相談

待 遇：委細面談

アットホームで働きやすい職場
だと思います。

産休・育休も取得可能。

興味のある方、一緒にやってみ
ませんか？まずはご連絡お待ちし
ております!!

①医療法人社団田村クリニック

〒763-0048 丸亀市幸町1-5-5

②訪問看護ステーション たかせ

〒767-0011 三豊市高瀬町下勝間2153-3

連絡先：0877-22-8391

担 当 田村 美和



■ (一社) 香川県作業療法士会ニュース No.79 ■

編 集 長：木村勇介 編集委員：水口未紅・安藤瑞基・村上太気・善相原健史・瀬知杏奈・大島祐輝
細谷かぐや・金倉由美・田村綾香・宇佐川雄太・平尾芹奈・菊池英里